

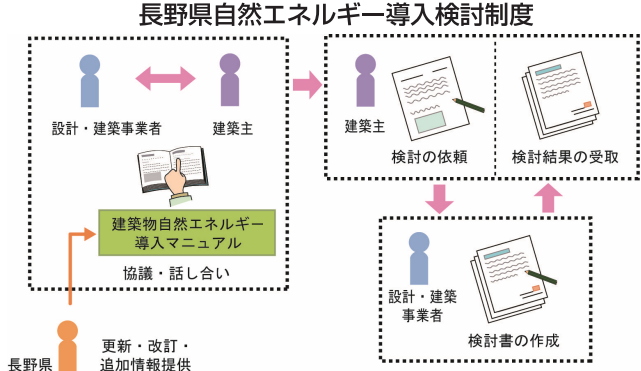
第6回 もう一つ始まった制度 「長野県自然エネルギー導入検討制度」

今年4月から長野県では、新築戸建て住宅も、建築物環境エネルギー性能検討制度」の義務対象になった。実はこれと対をなす制度として「建築物自然エネルギー導入検討制度」も始まっている。この制度も300㎡以上については昨年4月からスタートしており、戸建住宅も含めた300㎡未満の建築物は、今年4月から対象になっている。

長野県環境エネルギー課企画幹の田中伸一郎氏によると、「自然エネルギー導入検討制度」により、建築主は、建物を新築する際に、自然エネルギーの導入についての検討が義務づけられている。また、設計・建築事業者には、建築主に対して自然エネルギー導入可能性の説明が求められる。

長野県は、「建築物自然エネルギー導入マニュアル」を用意しており、設計・建築事業者は、このマニュアルを活用して説明することになる。このマニュアルは、一般人にもとても分かりやすくまとめられており、とても勉強になる内容だ。「建築物自然エネルギー導入マニュアル」で検索すれば、インターネットで読むことができる。

またこのマニュアルでは、長野県内の世帯当たりの年間エネルギー使用量について分析している。これによると、長野市のエネルギー使用量（熱量換算）は全国平均と概ね同等だが、支出額（金額）では、灯油など暖房用のエネルギー購入量が多いため、全国平均よりも多くなっている。そのため住宅については、冬季の断熱および暖房性能に着目することが大切だと説明している。



このマニュアルの最大の特色は、いきなり自然エネルギーの導入についての検討を求めているのではなく、まずエネルギー利用の効率化について

このマニュアルの最大の特色は、いきなり自然エネルギーの導入についての検討を求めているのではなく、まずエネルギー利用の効率化について

このマニュアルの最大の特色は、いきなり自然エネルギーの導入についての検討を求めているのではなく、まずエネルギー利用の効率化について

毎週水曜日掲載 / 次回掲載は5月13日(水)予定
 一般社団法人日本エネルギーバス協会編
 (03・62005・4492)



高性能樹脂窓 APW® 330

四季を心地よく過ごせる「樹脂窓」なら、健康でローエネな暮らしを実現します。

樹脂窓のチカラ

健康でローエネな暮らし



高性能トリプルガラス樹脂窓 APW® 430



YKK APは、寒暖の差が激しい長野県の住宅にこそ、年間を通じて快適な室温を維持する「樹脂窓」をおすすめいたします。詳しくはHPへ <http://www.ykkap.co.jp/> YKK AP 検索